

施策評価シート

【施策の概要】

		登録者(課長)名【1】	みどり公園課長 森下 直彦	
		主管課(関係課)【2】	みどり公園課	
施策名【3】		分野【4】	まちづくりの方向性【5】	
環1-2	みどりの空間の創出	みどりの保全と創出を進めるために	環境にやさしいまちづくり	
概要	施策全体の課題【6】		施策実現へむけたキーワード【7】	施策の目標【8】
	身近なみどりの創出は、わたしたちの暮らしにやすらぎを与えると同時に、まちの景観という面からも重要な役割をはたしています。本市は、公園の整備や道路・公共施設、生垣などの身近な場所での緑化を進めてきました。その一方で、近隣他市と比べると一人あたりの公園面積が少ないという状況となっていることから、公園や広場の充実が求められています。また、公共施設の緑化や民有地の緑化支援などによる新たなみどりの創出の取組が必要です。今あるみどりを効果的に活用しながら、みどりを豊かに感じることが出来る魅力ある景観づくりなどの取組が必要です。		◆市民の憩いの場、災害時の避難場所となる公園の確保 ◆公共施設の緑化など身近な緑化活動の推進 ◆民有地などの緑化支援	公園や緑地の拡充に加え、道路や公共施設、生垣などの身近な場所での緑化を進め、目に映るみどりの創出をめざします。
	留意すべき点(都などの制度の変化・その他制約条件・社会環境の変化)【9】			
	◇平成28年度から「いこいの森公園」を中心とする市域の1/5に相当する50か所の公園について指定管理者制度を導入し民間活力の活用と市民協働による公園の管理運営を始めました。指定管理者による自主事業により公園における新たな事業展開が行われています。 ◇都市緑地法等の一部改正を好機と捉え、自治体が負担する公園維持管理経費を抑制しつつ、民間活力の導入により新たな公園・緑地の再生・活性化に取り組んでいく必要があります。 ◇「健康」応援都市の実現を目指す上では、みどりの空間の創出は重要な課題の一つです。			
事業群	事業群名【10】		事業群の施策上の位置づけ【11】	
	1	公園・緑地の充実を図ります	計画的な公園・緑地の整備	
	2	身近なみどりを創出するための取組を進めます	市民と協働による花いっぱい運動、オープンガーデンなど身近なみどりの創出や民有地の緑化の支援。	

【施策の成果】

			年度	24	25	26	27	28	29	
成果指標【12】	指標1	名称	「公園・緑地などみどりの空間の創出」に対する満足度	目標値	43%			単位	%	
		算出式・説明	市民の身近なみどりを増やすために、市が行っている「公園・緑地などみどりの空間の創出」の取組に対する評価を、市民意識調査の「市民満足度」により把握します。	実績値	40.3	40.3	40.3	40.9	40.9	45.2
				達成率	94%	94%	94%	95%	95%	105%
	指標2	名称	補助金の交付を受けて造成された生垣の長さ(累計)	目標値	2,450m			単位	m	
		算出式・説明	みどりを創出するためには、公園、広場の整備だけでなく、民有地の緑化の推進も必要です。そのため、生垣造成の補助制度により、みどりを増やす支援を行います。	実績値	1674.8	1731.2	1882.8	1937.9	1986.1	
				達成率	68%	71%	77%	79%	81%	0%
	指標3	名称	「花いっぱい運動」で年間に植え付けした花壇数	目標値	50か所			単位	か所	
		算出式・説明	身近なみどりを創出するために、公園や広場の花壇への花いっぱい運動が行われています。この運動で植え付けした花壇数を増やすことを目標とします。	実績値	41	43	45	45	47	
				達成率	82%	86%	90%	90%	94%	0%
指標4	名称		目標値				単位			
	算出式・説明		実績値							
			達成率							
達成率の平均値				81%	84%	87%	88%	90%	35%	

【市民意見】【13】

24年度		27年度		29年度	
満足度(%)	40.3%	満足度(%)	40.9%	満足度(%)	45.2%
満足度(平均ポイント)	0.03	満足度(平均ポイント)	0.03	満足度(平均ポイント)	0.17
重要度(%)	81.9%	重要度(%)	83.4%	重要度(%)	80.1%
重要度(平均ポイント)	1.29	重要度(平均ポイント)	1.31	重要度(平均ポイント)	1.33

各年次の市民意識調査で、施策ごとの「満足、やや満足」「重要、やや重要」の合計値として算出しています。

【一次評価】

検証項目	施策の成果と課題	施策成果の目標達成状況【14】	<input type="checkbox"/> まだ未達成	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成	<input type="checkbox"/> 目標を大きく上回る	
		意識調査での満足度【15】	<input type="checkbox"/> 平均を下回る	<input type="checkbox"/> ほぼ平均	<input checked="" type="checkbox"/> 平均を上回る	
検証項目	今後の方針	施策の重要性の変化【17】	<input type="checkbox"/> 弱くなっている	<input type="checkbox"/> 以前と同程度	<input checked="" type="checkbox"/> 強くなっている	
		意識調査での重要度【18】	<input type="checkbox"/> 平均を下回る	<input type="checkbox"/> ほぼ平均	<input checked="" type="checkbox"/> 平均を上回る	
検証項目	今後の方針	◇下保谷四丁目特別緑地保全地区の用地取得については、平成29年度に完了し、翌年度には保全・活用計画を策定していきます。泉小学校跡地には、ボール遊び機能、防災備蓄倉庫を備えた公園整備を進めていきます。 ◇公園配置計画の策定について、多様化する市民要望を踏まえ、第2次総合計画に基づき、公園施設の有効活用、公園の充実、公園施設のリニューアルやバランスのとれた公園配置と公園整備を視野にいれ、「健康」応援都市における公園づくりを検討していく必要があります。 ◇指定管理者制度については、維持管理経費の抑制効果の検証や指定管理者による自主事業などによる市民サービスの向上効果を検証しながら、他の地域への導入を検討していきます。 ◇「西東京市みどりの保護と育成に関する補助金交付要綱」の今後の見直しにつきましても経過を見極めながら審議検討していく必要があります。 ◇花いっぱい運動については、高齢化による担い手の不足が懸念されている状況にあり、ボランティアの拡充策の検討が急務となっています。若年層をはじめ子育て世代を含む多様な年齢層の人材確保に努めます。 ◇「オープンガーデンコミュニティガーデンガイドマップ」を活用し、花とみどりを通じた交流の輪を広げます。				
総合評価	施策内容の方向性【20】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 絞込み		
	施策実施コストの方向性【21】	<input type="checkbox"/> 重点化	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 効率化		
	施策実施方針【22】	Ⅱ	成果の向上を図りつつ、コストは現状を維持する施策領域			
【一次評価後の事情変更等】						
説明【23】						
【行革本部評価】						
総合評価	施策内容の方向性【20】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 絞込み		
	施策実施コストの方向性【21】	<input type="checkbox"/> 重点化	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 効率化		
	判断理由等【24】	みどりの空間の創出については、平成28年度から市域の1/5に相当する50箇所の公園に指定管理者制度を導入し、民間活力の活用と市民協働による維持管理に取り組んできました。市民意識調査結果では、前回調査と比べ重要度に大きな変化は見られませんが、満足度に上昇が見られます。今後は、公園配置計画の策定にあたって、新たに「健康」応援都市の実現を踏まえた公園づくりを検討する必要があります。そのため、指定管理者制度の導入による維持管理経費の抑制効果や、自主事業等による市民サービスの向上効果を検証のうえ、実施コストを抑制し、施策内容の拡充に努めるべきと判断しました。				
	施策実施方針【22】	Ⅲ	成果の向上を図りつつ、コストを抑制する施策領域			

【施策内の事務事業貢献度判定】

環1-2 みどりの空間の創出

事業群	名称【25】	担当課【26】	概要【27】
	計画的な公園施設配置・機能の整備に向けた取組	みどり公園課	泉小学校跡地に、ボール遊び機能、防災備蓄倉庫を備えた公園を整備します。平成28年度に市民協働で実施した公園実態調査を基に、平成29年度は、健康応援都市における公園づくりを基軸にした公園配置計画を策定します。
	公園の指定管理者制度導入に向けた取組	みどり公園課	民間のノウハウを活用して、経費を節約しながらも最大の効果があげられる指定管理者制度について調査研究した結果、維持管理費の抑制、多様な市民ニーズへの対応、市民協働の推進と市民サービスの向上が期待できるため、西東京いこいの森公園を中心とする市域の1/5相当となる市立公園50か所において導入しました。なお、指定管理者制度導入後は、検証しながら順次対象公園の拡大を目指します。
	樹木等保存事業の実施	みどり公園課	民有地のみどりの保全について、保存樹木等補助制度を設けて支援しており、引き続き、市報・ホームページで情報提供に努めていく必要がありますが、現状を踏まえ、緑化審議会等で補助制度の見直しについて審議検討する必要があります。
2	花いっぱい運動の推進	みどり公園課	公園などの花壇のデザインや植え付け、維持管理等を市民が主体的に行い、市民の緑化への関心を高めるとともに、花いっぱい運動を通じ、市民協働を推進します。
	コミュニティガーデン・オープンガーデン事業の推進	みどり公園課	開発に伴い寄付された小規模な公園又は緑地の維持管理と活用が課題となっていることから、その活用をはかるために公園ボランティアと協力して、市民が交流する「地域の庭」としてのコミュニティガーデンの設置を進めています。また、「個人の庭」を開放し、市民が自主的に行うオープンガーデンは、花とみどりを通じて交流の輪を広げ、地域の魅力を再発見することができます。そこで市民と協働で「コミュニティガーデン&オープンガーデン」ガイドマップの作成を行い、オープンガーデンとコミュニティガーデン、花いっぱい運動を連携させ、市民協働で花とみどりが実感できる街づくりを目指していきます。
事業の合計			

総コスト(千円) : 評価年度【28】	事務事業の評価(直近)【29】		26市のサービス水準との比較【30】	施策における位置づけ【31】	貢献度【32】	
	事業費	人件費				
383,111	381,449	1,662	改善・見直し(平成25年度)	下	都市の環境を守り、人々の生活にやすらぎとるおいを与えてくれ豊かなみどりの保全、美しい景観の創出。	A
13,009	4,700	8,309			計画的な公園・緑地の確保。	B
58,543	56,881	1,662			民間のノウハウを活用して、維持管理経費の増加を抑制しながら市民サービスの向上が期待できます。	A
10,832	10,001	831	抜本的見直し(平成25年度)	中	樹木等保存事業を通じ、民有地の緑化の保全を支援します。	B
5,283	4,452	831	改善・見直し(平成23年度)	中	花いっぱい運動を通じて、身近なみどりの創出を図り、みどりの保全の大切さを学びあいながら市民協働を推進します。	B
1,461	630	831			コミュニティガーデン・オープンガーデン事業の推進により、身近なみどりの創出を図りながら、市民と協働で花とみどりが実感できる街づくりを目指していきます。	B
472,239	458,113	14,126				